



先回に引き続き、1/10 電動ラジオコントロールカーで行われている、世界唯一の F-1 選手権である F1RCGP (Formula 1 Radio control Car Grand Prix) の運営組織 F1RCGPA の代表であり、自身もドライバーとして世界で活躍されている北澤秀郎さんをお迎えし、F1RCGP についてお話をうかがいました。

Formula は 2011 年より F1RCGP のシーズンスポンサーをしています。

第二回 F1RCGP という新たな試み – 前編 –

Formula (以下 F) JMRCA (Japan Model radio control car Association / 日本モデルラジオコントロールカー協会) がやられている 1/10 (スケール)、1/12 (スケール) などの全日本選手権と F1RCGP (Formula 1 Radio control Car Grand Prix) の一番の違い。ここが違うから絶対におもしろいんだという部分を是非お聞きしたいのですが。

北澤 (以下 K) それはただ一つです。JMRCA、IFMAR (International Federation of Model Auto Racing) もそうですが、ラジコンの大きな組織というのは主催者側が実のところラジコンを好きなわけではないのです。一方で F1RCGP は、ラジコンが大好きな僕が企画するレースだからこそ、面白い方向にどんどん変化させられる、進化させられる。この点が決定的に違うところなんです。ですので、JMRCA や IFMAR のレースは、極端な言い方をすると”冷たい”ところがあります。「これがルールなんだ」とか、そういうくくりで全てをばっさりと裁いてしまうところがあります。仕方がない部分もあるのですが、なんと申しますか、すごく業務的です。ラジコンが好きでやっている参加者の人たちからすると、好きでやっている訳ではない人たちからすると「そんなことを言われても」という風に思ってしまう雰囲気があります。反感を買うみたいな。

- F 今の話で日産のゴーンさんを思い出しました。R32 GTR が世に出て、その後残念ながら日産自動車の業績が陰ってきたんです。それで、ルノーとの提携関係の中でゴーン社長が来られて、彼がおっしゃっていたのが「自動車の会社なんだから自動車が好きじゃなきゃいけない」という話です。
- K ゴーン社長自身、すごく車が好きなんですよ。
- F そうですね。やはり好きであるということは大切だと思います。
- K 私も一番重要だと思います。
- F 1/10、1/8、1/12、どのカテゴリーにおいても実在する車と見た目がまったく異なるマシンがまれにありますよね。それに対して F1RCGP だと、マクラーレンが好きな人はシルバーと赤い車、フェラーリが好きな人は赤い車を見ている人だろうし。そういうちょっとした部分ですが、一般の人に十分受け入れられることができる要素だと思います。
- K ラジコンのカテゴリーとして 1/12 や 1/8 などがあって、あのフォルムはすごいし、ありだとは思いますが。ただ、一般の人に知らしめる、説明するという部分がすごく欠けていて、無理があるなと思っています。例えばマシンのこの部分をこういう形状にしているからラジコン独特のスケールスピードが発生するのだとか、そういううんちくをたれてくれる人が絶対的に少ないので、一般の人に見せてもそのすごさがなかなか伝わらない、と思います。だけど F1 の形状を知っていれば、もうそれが走っているだけすごいですって思ってしまうからね。
- F 変な言い方かもしれませんが、F1RCGP には可能性をすごく感じます。日本では F1 というといふ少しマニアな人と見られる部分があって残念なのですが、同じ F1 という切り口から海外でも受け入れられている実績がありますし、さらに今後、海外の他の地での転戦の話もでてきていると伺っています。どこに行っても受け入れられるという気がしていますね。
- 以前にもお話した記憶がありますが、F1RCGP という会社を作っちゃったほうがいいと本気で思っています。その方が後々運営が楽になると思いますが。
- K 今の F1RCGP の状況には、信用力の点で課題があると思っています。僕がぽっくり死んじゃったら、今の段階ではもう打ち切らざるをえない。だから、第三者もしくはそういうカンパニーを作って、引き継いでいってもらえる人材を育てなければいけない。仲間がいないと信用力の部分で欠如しているなと感じています。それは常に課題ですね。

F ゆくゆくは本当の F1 との接点が出てくるのではないかと考えています。

K 可能性として、ないとは言い切れないですね。

例えば、まだ本物の自動車に乗れないちっちゃい子は本物の F1 見るよりもラジコンの方が絶対親しみが持てて、おもしろいと感じると思うんですよね。それによって F1 というカテゴリーを気に入ってくれば、将来的に本物の F1 を見てみたいとか、自分でレーサーになってみたいとか、そういう発想にも繋がると思います。

F 今のお話、間接的か直接的の定義は抜きにして、それ自体が社会貢献になっていますよね。若いひとたちにそういう環境を与えている。日本の中では残念ながらモータースポーツは他のスポーツに比べてみるとポピュラーじゃないところがありますが。小さいときから F1RCGP を見て育って、自分で運転したいと思いレーサーになって、ゆくゆく F1 のドライバーになる。そういう人が 10 年、20 年後に出てくる可能性のある、とても夢のあるシリーズだと思っています。だからこそいっそう応援したくなります。

K ありがとうございます。

この続き「F1RCGP という新たな試み - 後編-」は 1 月 20 日に掲載されます。

2012 Formula Inc. all rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.

本站内图文请勿随意转载 / 本站内图文请勿随意转载

게시물 무단 전재 복사 배포 등을 금지합니다

Gebrauchen die Bilder ohne Genehmigung verboten.